

# しぜん がくしゅうかん だよ トキと自然の学習館 便り

がっ できごと  
～3月の出来事～

れいわ ねん がっ  
令和6年3月

VOL.77



できごと  
出来事

①

## ふゆ とり まな 冬の鳥について学ば

がくしゅうかん ふゆ とり ちようさたい か じっし さんかしゃ  
学習館イベント『冬の鳥調査隊』を2日に実施しました。参加者は  
しな いしやうがっこう かよ ねんじどう ほごしゃ  
市内小学校に通う4～6年児童とその保護者です。

ぜんはん てらどまりすいぞくはくがづかん てんぼうしつ かいがん うみどり かんさつ  
前半は寺泊水族博物館の展望室から、海岸にいる海鳥の観察を  
おこな かいめん きも う ながま  
行いました。海面を気持ちよさそうに浮かぶ「ハジロカイツブリ」  
はカモメの仲間、カモによく似た鳥です。風に乗った「オオセグ  
ロカモメ」は展望窓のすぐそばを優雅に飛んでいきました。



ながま けんない はんしよく いちねんじゆう み  
カモメの仲間のウミネコは県内でも繁殖して一年中見られる  
とり さくねん かんさつかい かんさつ ことし  
鳥です。昨年の観察会ではたくさん観察できたのですが、今年は  
まった み かいせつ ながおかやちよう かいがいちよう  
全く見つけられません。解説をしていただいた長岡野鳥の会会長  
わたなべひさしせんせい こんかい そな ふゆ はじ てらどまり  
の渡辺央先生は、今回のイベントに備えて冬の始まりから寺泊  
かいがん ようす なんと み きて そうじょう ことし なん えいきやう  
海岸の様子を何度か見に来たそうですが、今年は何の影響かわか  
りませんが寺泊海岸には海鳥が少ないということでした。

すいぞくかん み すいそう まうえ なが  
水族館のバックヤードも見せてもらいました。水槽を真上から眺め  
たり、えづ かいめん すいそう と こ うらわ みおく  
たり、餌付けショーの水槽に飛び込むダイバーを裏側から見送っ  
たりと、つうじやう らいかんじ あじ たの たいけん  
たりと、通常の来館時には味わえない楽しい体験ができました。

こうはん わたなべせんせい こうえん ほんしゅう ひらい  
後半は渡辺先生から講演をいただきました。本州に飛来したトキ  
かんきやうしやう いらい ついせき とき きちやう しゃしん み ふゆ  
を環境省からの依頼で追跡した時の貴重な写真を見ながら、冬の  
トキの暮らしについて学びました。クチバシを土の中に差し込んで探るようにエサを捕るトキにとって、  
せきせつ おお ちいき さが こんなん つち み ぼしよ ひっし さが しゃしん み  
積雪の多い地域でのエサ探しはとても困難です。わずかに土が見える場所で必死に探す写真を見て、  
ふゆ しぜんかい きび かん まな おお とり きやうみ つか いちにち  
冬の自然界の厳しさを感じました。学びが多く、さらに鳥への興味が深まった一日となりました。



こうかい 公開しているつがいの愛称が決まりました。  
オスは「ゆう」メスは「さくら」です。  
これからもどうぞよろしく！



## しんきょけんちくちゆう 新居建築中

できごと  
出来事

②

がっしよじゆん す まっさいちゆう しいくいん  
3月初旬、つがいは巣づくり真最中です。飼育員  
がケージの手前に撒いたヒノキの葉など(◀)を、  
せっせとすだい うえ はこ い きやうりよく とどの  
せつせと巣台の上に運び入れ、協力して整えて  
ようす み かんせい  
いる様子が見られました。もうすぐ完成かな？